



## 《ハエの防除対策＝環境対策＋殺虫対策》

### ① 環境対策（ハエ防除対策の基本、最適環境を与えない）

- ・乾燥：糞及び畜舎（飲水器の漏水、雨水の遮断）
- ・早期除糞、残餌の除去、飼料の密閉、死体・破卵を堆肥に混ぜない

ハエは糞尿や湿ったところを好み卵を産みます。

畜房のすみ、バークリーナー、鶏舎の下に堆積した糞、汚水だまり、残餌、給水器の下部、床に落ちて割れた卵など。

### ② 殺虫対策（卵・幼虫・さなぎを殺虫剤で駆除する）

- ・物理的方法：ハエ取り紙
- ・科学的方法：脱皮蛹化抑制剤（幼虫対策）  
毒餌法・残留噴霧法・空間噴霧法（成虫対策）

農場内にいるハエの75%は卵・幼虫・さなぎの状態です。成虫駆除も必要ですが、幼虫は殺虫剤への抵抗力が低く駆除しやすいです。

## ★殺虫対策の一例

◎幼虫対策⇒ 昆虫発育抑制剤(IGR剤)の使用  
糞にIGR剤を均一に定期的に(1カ月間隔)散布

幼虫の発育を阻害して成虫にさせない薬剤です。

糞堆積場や畜舎床の糞に丁寧に均一に散布します。

○成虫対策⇒ 殺虫剤による毒餌法(POB)

食毒系薬剤と誘引剤(砂糖・酒等)を混ぜて、ハエの好んで止まる場所(天井・壁等)に塗ったり、吹き付けたり、毒餌として床等に置いて殺虫します。

※幼虫対策を第一に！それでもハエが多く目立ってきたら、IGR剤を2週間隔で散布し併せて毒餌法も実施します。

※畜産物への殺虫薬剤を残留させないため、畜体への直接噴霧を認められていない薬品を使用する際には家畜に暴露させないこと、休薬期間(使用禁止期間)を守ること等、定められた用法・用量を守って使用して下さい。また、使用の際には記録を残しておきましょう。